

みらいしんきん Report

景気動向調査のまとめ

調査期間 2024年10月～12月

大分みらい信用金庫では、3ヶ月毎に「中小企業景気動向調査」を実施しています。

株価と為替の動き



調査内容

2024年10～12月期の業況/2025年1～3月期の業況予想

今回の調査実施時期

2024年12月上旬

調査先数

大分市・別府市・中津市・宇佐市・豊後高田市・由布市・日出町・福岡県築上郡(事業所205先)

調査先業種内訳

製造業	28先	小売業	58先
卸売業	24先	サービス業	59先
建設業	20先	不動産業	16先

調査方法

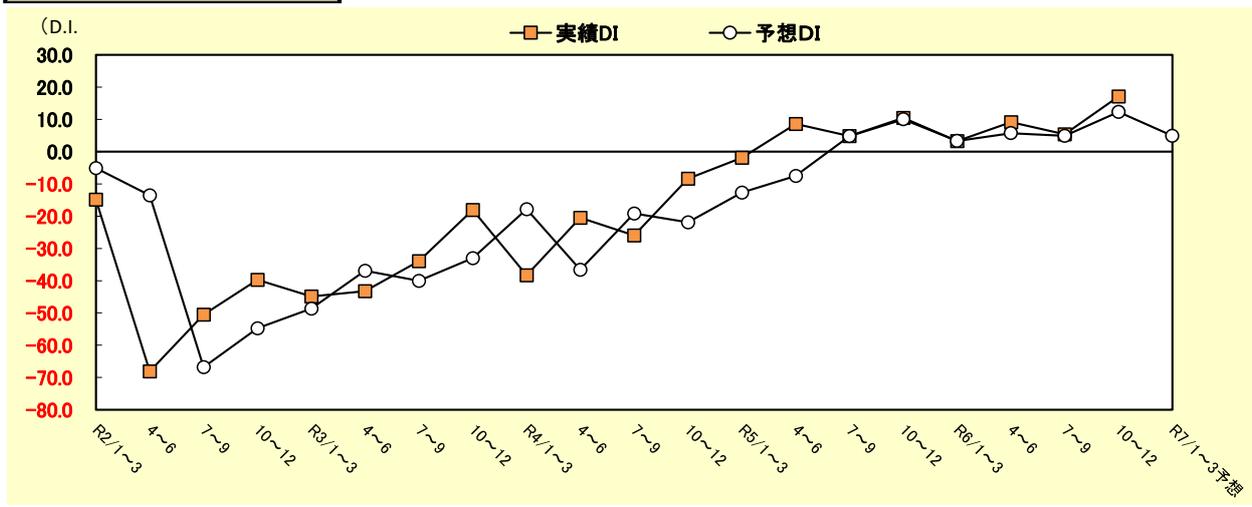
面接・聞き取りによる感触調査

分析方法

各質問項目で、「増加」(上昇)したとする事業所の全体に占める割合と、「減少」(下降)したとする事業所の割合との差(判断DI)で分析しています。

県内経済概況

業況判断・実績DI/予想DI値推移



業種別天気図

表の見方



	10~12月期実績				1~3月期予想			
	総合	別府	大分	県北	総合	別府	大分	県北
総合	17.1	22.7	13.9	10.5	4.9	5.7	5.1	2.6
製造業	14.2	30.7	20.0	▲10.0	0.0	7.6	0.0	▲10.0
小売業	0.0	▲3.8	0.0	12.5	▲15.5	▲26.9	▲8.3	0.0
卸売業	12.5	0.0	22.2	16.6	8.3	0.0	22.2	0.0
サービス業	35.5	50.0	22.2	25.0	15.2	25.0	11.1	▲25.0
建設業	35.0	60.0	25.0	28.5	25.0	40.0	0.0	42.8
不動産業	0.0	0.0	0.0	0.0	18.7	28.5	16.6	0.0

10月~12月の県内経済概況

2024年10月~12月の調査地域全域における企業の景況感を示す総合業況DIは17.1となり、前期比11.7ポイント上昇となっています。

業種別の状況を見ると、製造業は14.2となり、前期比10.8ポイント上昇、小売業は0.0となり、前期比17.5ポイント上昇、卸売業は12.5となり、前期比4.2ポイント上昇、サービス業は35.5となり、前期比11.4ポイント上昇、建設業は35.0となり、前期比6.5ポイント上昇、不動産業は0.0となり、前期比12.5ポイント上昇となっています。

地域別では、別府地区が22.7となり、前期比21.6ポイント上昇、大分地区が13.9となり、前期比5.2ポイント上昇、県北地区が10.5となり、前期比2.4ポイント上昇となっています。

業種別景況

製造業

● 当期(10月～12月)の景況

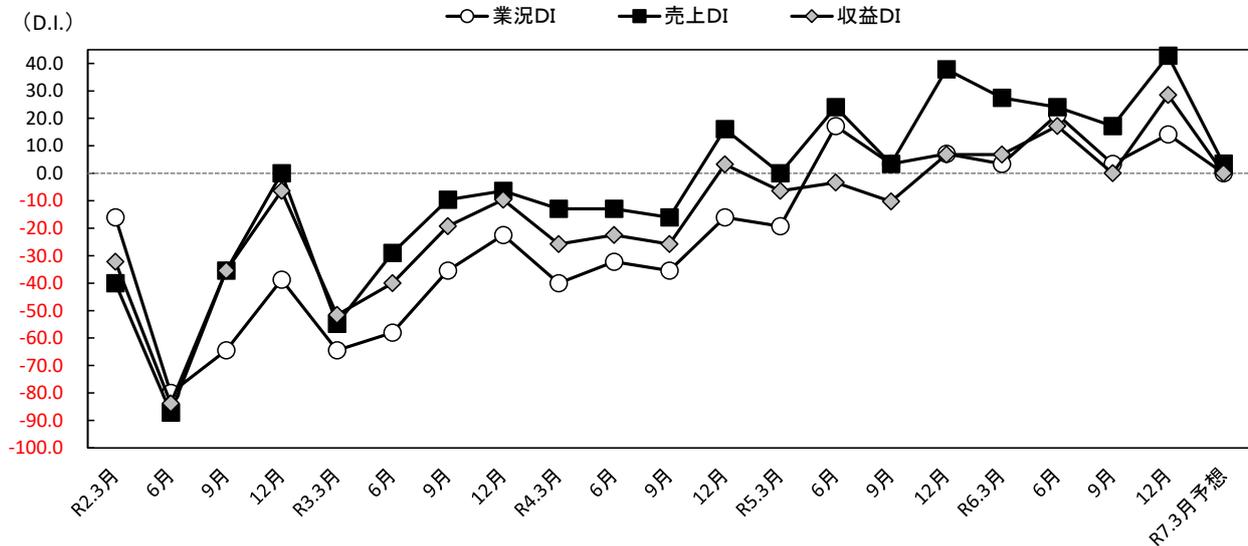
全域における業況DIは14.2となり、前期比10.8ポイント上昇、前年同期比7.1ポイント上昇となっています。売上DIは42.8となり、前期比25.6ポイント上昇、前年同期比4.9ポイント上昇となっています。収益DIは28.5となり、前期比28.5ポイント上昇、前年同期比21.7ポイント上昇となっています

地域別の業況DIでは、別府地区が30.7となり、前期比16.5ポイント上昇、前年同期比16.5ポイント上昇、大分地区が20.0となり、前期比20.0ポイント上昇、前年同期比5.0ポイント下降、県北地区が▲10.0となり、前期と同水準、前年同期と同水準となっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは0.0となり、今期比14.2ポイント下降となっています。売上予想DIは3.5となり、今期比39.3ポイント下降となっています。収益予想DIは0.0となり、今期比28.5ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が7.6、大分地区が0.0、県北地区が▲10.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

原材料高	25.4%
人手不足	16.9%
売上停滞・減少	11.8%
同業者間の競争激化	10.1%
人件費の増加	6.7%

最重要経営施策

販路拡大	30.3%
経費節減	23.2%
人材確保	16.0%
情報力強化	7.1%
新製品・技術開発	5.3%

経営者のみなさまの主なコメント

- ・業況は好調だが、中国国内の動きが良くない。大手自動車メーカーの動向が為替等の影響を受けやすい。
- ・昨年業務用冷蔵庫や空調を新調。省エネにつながっている。来年度より新事業も開始するため、省エネ対策を継続する。
- ・新型コロナウイルス感染症が終息したことより、業況は回復傾向にある。人がいない場所は電気を切る等節電を行っているが、さらなる省エネ対策を検討中である。
- ・仕入値の高騰により販売価格の値上げを行った。

小 売 業

● 当期(10月～12月)の景況

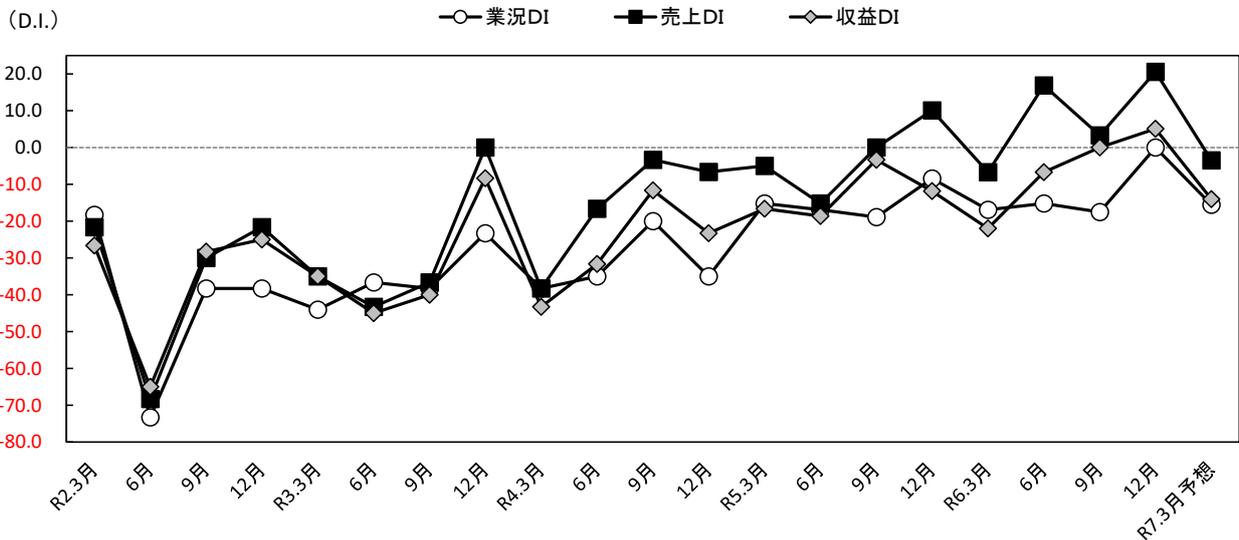
全域における業況DIは0.0となり、前期比17.5ポイント上昇、前年同期比8.4ポイント上昇となっています。売上DIは20.6となり、前期比17.3ポイント上昇、前年同期比10.5ポイント上昇となっています。収益DIは5.1となり、前期比5.1ポイント上昇、前年同期比16.9ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲3.8となり、前期比19.2ポイント上昇、前年同期比11.5ポイント上昇、大分地区が0.0となり、前期比25.0ポイント上昇、前年同期比8.0ポイント上昇、県北地区が12.5となり、前期比16.0ポイント下降、前年同期と同水準となっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは▲15.5となり、今期比15.5ポイント下降となっています。売上予想DIは▲3.5となり、今期比24.1ポイント下降となっています。収益予想DIは▲14.0となり、今期比19.1ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲26.9、大分地区が▲8.3、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	19.3%
利幅縮小	12.9%
仕入先からの値上要請	12.0%
大型店競争激化	9.6%
同業者間の競争激化	6.4%

最重要経営施策

経費節減	50.0%
売筋商品取扱	31.2%
品揃え改善	27.0%
宣伝・広告強化	20.8%
特になし	20.8%

経営者のみなさまの主なコメント

- ・店舗の老朽化のため、改修・整理の必要がある。また、宣伝を強化していく。
- ・駅周辺商店街に店舗があるため立地は良い。ただ、ネットでの買い物が多く、客足が以前より減っている。卸先等の開拓が必要である。
- ・物価高騰のため、販売先に価格交渉を行う。令和7年度の販売価格は2～3月に決定するため、今後の交渉が来年度の売上につながる。
- ・コロナ禍が終了し、着実に売上増加している。家族内で切り盛りしており、事業継承等も問題ない。
- ・現在、事業を基本的に一人で運営している。高齢となっているため、今後の事業継続について検討が必要である。
- ・売上高は増加傾向にあるが、1～3月の見通しはあまりよくない。仕入価格は上昇しているため、販売価格を変更せざるを得ない。
- ・売上面に関しては、やや増加しているが、人手不足や人件費の増加など経営上の問題点である。今後問題点を少なくしていく、売上や収益を増加させる努力をする。

卸 売 業

● 当期(10月～12月)の景況

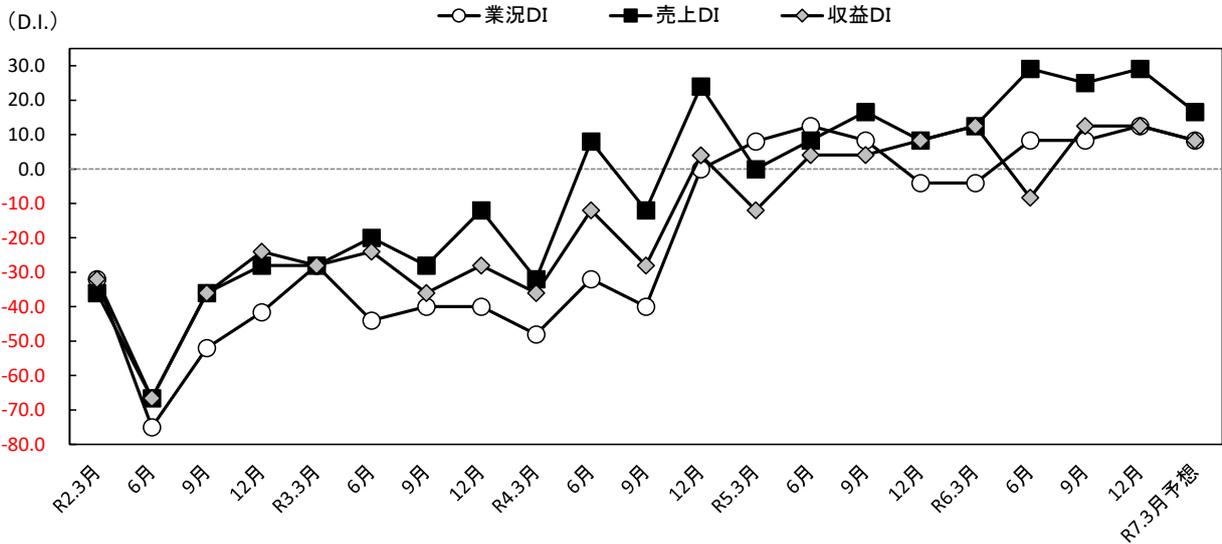
全域における業況DIは12.5となり、前期比4.2ポイント上昇、前年同期比16.6ポイント上昇となっています。売上DIは29.1となり、前期比4.1ポイント上昇、前年同期比20.8ポイント上昇となっています。収益DIは12.5となり、前期と同水準、前年同期比4.2ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が0.0となり、前期比11.1ポイント下降、前年同期比22.2ポイント下降、大分地区が22.2となり、前期比11.1ポイント上昇、前年同期比22.2ポイント上昇、県北地区が16.6となり、前期比16.6ポイント上昇、前年同期比66.6ポイント上昇となっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは8.3となり、今期比4.2ポイント下降となっています。売上予想DIは16.6となり、今期比12.5ポイント下降となっています。収益予想DIは8.3となり、今期比4.2ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が0.0、大分地区が22.2、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

仕入先からの値上要請	16.6%
利幅縮小	12.9%
同業者間の競争激化	9.2%
人手不足	9.2%
人件費増	7.4%

最重要経営施策

経費節減	27.0%
販路拡大	22.9%
人材確保	10.4%
情報力強化	8.3%
特になし	8.3%

経営者のみなさまの主なコメント

- ・県内外の取引先が多く、業況は安定推移している。節電等省エネ対策は行っている。
- ・海外の取引先があることから、コロナが終息した現在、業況は安定している。
- ・業況は、例年と同程度で推移する見込みである。
- ・収益状況は大きく変わらず推移している。ただし、以前より利幅が小さくなり営業利益で赤字となっているため、価格の見直し、交渉は必要。
- ・従業員の高齢化が不安であり、産業雇用安定センターへ相談中。人材採用に向け取り組んでいる。

サービス業

● 当期(10月～12月)の景況

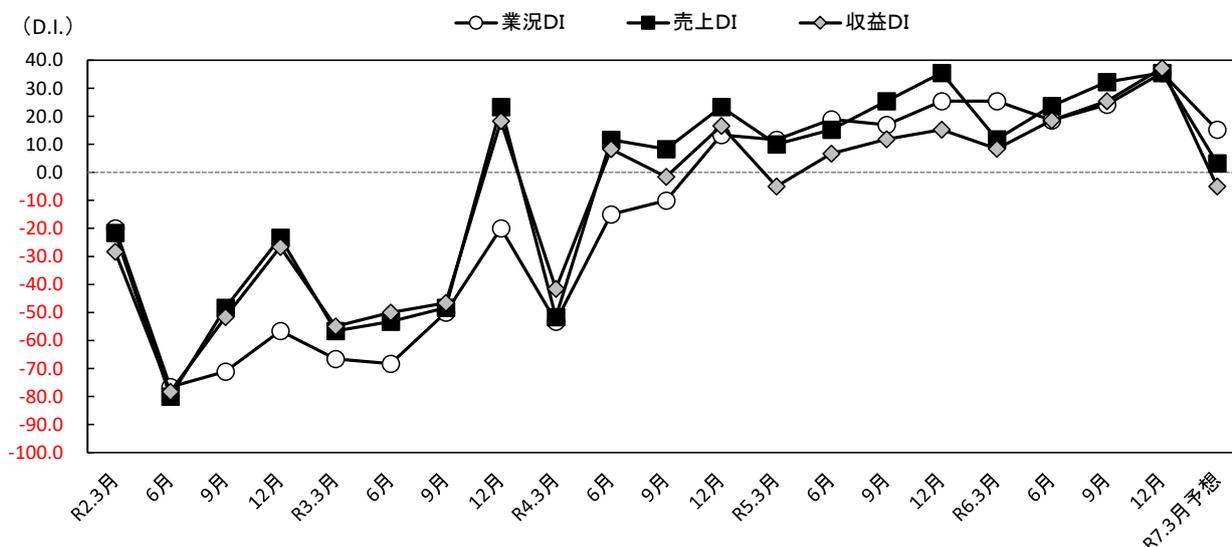
全域における業況DIは35.5となり、前期比11.4ポイント上昇、前年同期比10.1ポイント上昇となっています。売上DIは35.5となり、前期比3.3ポイント上昇、前年同期と同水準となっています。収益DIは27.1となり、前期比1.7ポイント上昇、前年同期比11.9ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が50.0となり、前期比38.9ポイント上昇、前年同期比3.5ポイント下降、大分地区が22.2となり、前期比14.8ポイント下降、前年同期比25.9ポイント上昇、県北地区が25.0となり、前期と同水準、前年同期と同水準となっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは15.2となり、今期比20.3ポイント下降となっています。売上予想DIは3.3となり、今期比32.2ポイント下降となっています。収益予想DIは▲5.0となり、今期比32.1ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が25.0、大分地区が11.1、県北地区が▲25.0となっています。



経営上の問題点

人手不足	16.5%
材料価格の上昇	15.6%
人件費増加	14.7%
同業者間の競争激化	9.5%
利幅縮小	8.6%

最重要経営施策

経費節減	22.9%
販路拡大	13.7%
人材確保	12.8%
宣伝・広告強化	9.1%
店舗・設備改装	8.2%

経営者のみなさまの主なコメント

- ・事業継承等を検討している。
- ・コロナ禍からの反動やインバウンド増加が売上高に反映されており、令和6年5月、6月は過去最高の売上高を達成。来年には隣接地を購入し、新たに設備投資を行う予定である。
- ・旅行支援が終わったこともあり、昨年の同時期より売上は減少している。それでも、11月、12月はオフシーズンであるが、土日は予約で埋まっている。
- ・インバウンド宿泊客が増加しており、売上は昨年と同水準。今後、インバウンド客が増加すれば、売上もより増加する。
- ・売上は増加傾向。インバウンド客に人気であり、12月まで予約が埋まっている。
- ・事業用車両が多く、脱炭素化への関心は高い。
- ・コロナ明け以降業況は順調に推移している。
- ・ここ最近、防犯に関する問い合わせが多くきている。
- ・飲食業の回復により、売上は右肩上がりである。
- ・自社の施設を活用したイベントの企画・開催等に取り組んでおり、売上確保に努めている。

建設業

● 当期(10月～12月)の景況

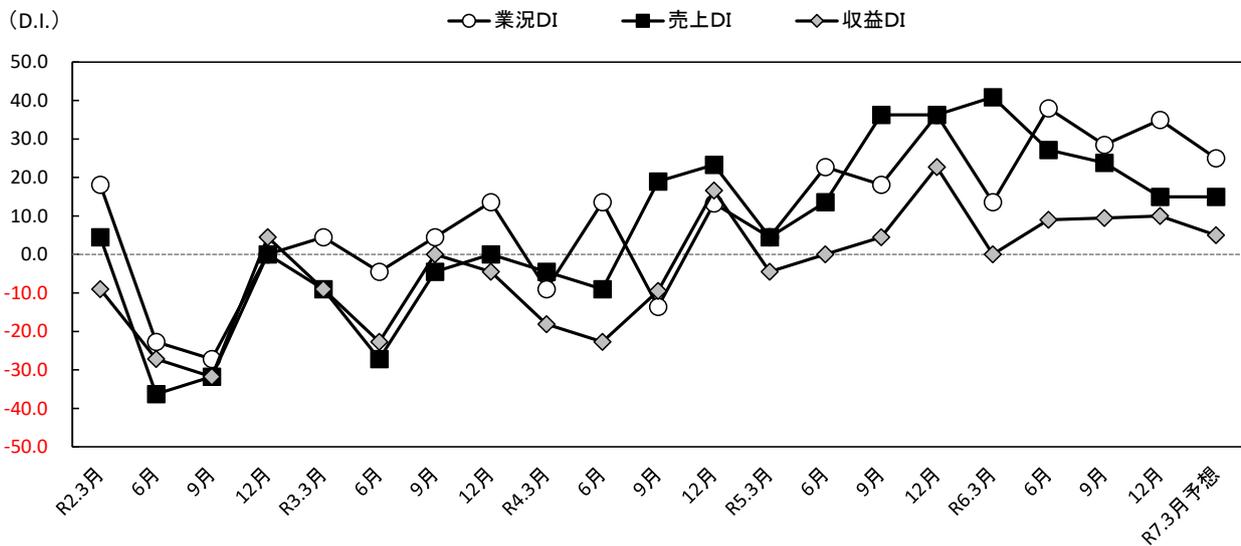
全域における業況DIは35.0となり、前期比6.5ポイント上昇、前年同期比1.3ポイント下降となっています。売上DIは15.0となり、前期比8.8ポイント下降、前年同期比21.3ポイント下降となっています。収益DIは10.0となり、前期比0.5ポイント上昇、前年同期比12.7ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が60.0となり、前期比20.0ポイント上昇、前年同期比20.0ポイント下降、大分地区が25.0となり、前期比8.3ポイント下降、前年同期比19.4ポイント下降、県北地区が28.5となり、前期比14.3ポイント上昇、前年同期比28.5ポイント上昇となっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは25.0となり、今期比10.0ポイント下降となっています。売上予想DIは15.0となり、今期と同水準となっています。収益予想DIは5.0となり、今期比5.0ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が40.0、大分地区が0.0、県北地区が42.8となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

材料価格の上昇	29.1%
人手不足	18.7%
同業者間の競争激化	12.5%
利幅縮小	10.4%
人件費増加	6.2%

最重要経営施策

経費節減	26.0%
販路拡大	17.3%
技術力向上	13.0%
人材確保	10.8%
情報力強化	10.8%

経営者のみなさまの主なコメント

・若手の離職や人材不足が深刻化している。人手は現在適正ではあるが、採用時は苦戦している。

不 動 産 業

● 当期(10月～12月)の景況

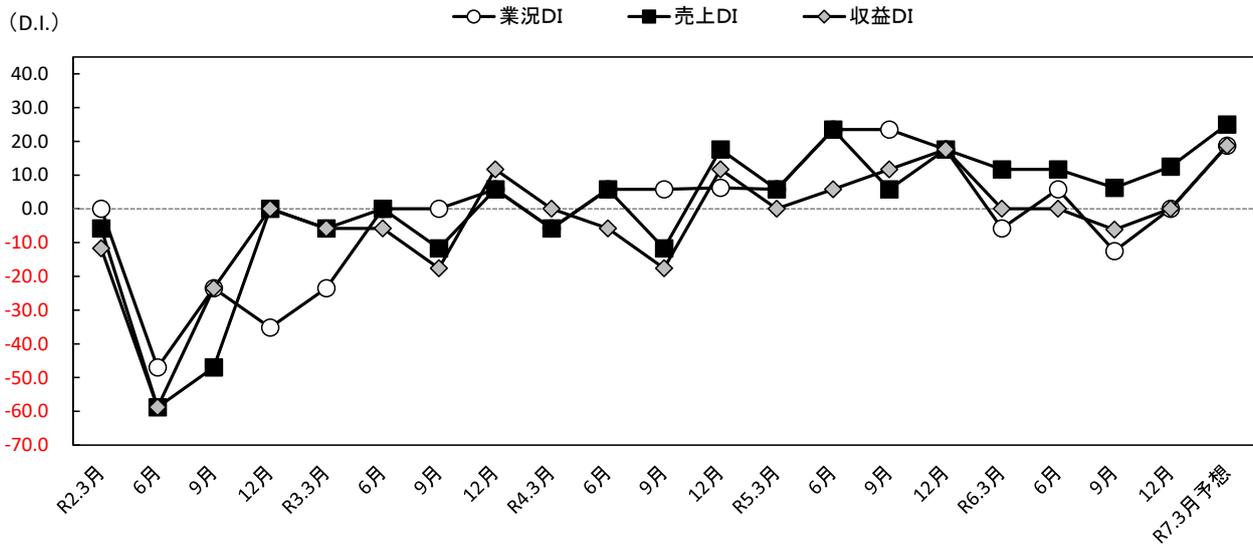
全域における業況DIは0.0となり、前期比12.5ポイント上昇、前年同期比17.6ポイント下降となっています。売上DIは12.5となり、前期比6.3ポイント上昇、前年同期比5.1ポイント下降となっています。収益DIは0.0となり、前期比6.2ポイント上昇、前年同期比17.6ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が0.0となり、前期比14.2ポイント上昇、前年同期比28.5ポイント下降、大分地区が0.0となり、前期比16.6ポイント上昇、前年同期比16.6ポイント下降、県北地区が0.0となり、前期と同水準、前年同期と同水準となっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは18.7となり、今期比18.7ポイント上昇となっています。売上予想DIは25.0となり、今期比12.5ポイント上昇となっています。収益予想DIは18.7となり、今期比18.7ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が28.5、大分地区が16.6、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

同業者間の競争激化	16.6%
商品物件高騰	13.3%
商品物件不足	13.3%
人件費増加	13.3%
利幅縮小	10.0%

最重要経営施策

情報力強化	27.7%
販路拡大	16.6%
提携先探す	13.8%
宣伝・広告強化	11.1%
経費節減	11.1%

経営者のみなさまの主なコメント

- ・不動産の地価が年々上がっているのが懸念点である。
- ・不動産の価格や建売の材料高騰に頭を悩ませている。
- ・小規模経営であり、コスト削減努力を行っている。
- ・業況に特に変化はない。

D I 数 値

全域合計

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	10月～12月実績	17.1	14.2	0.0	12.5	35.5	35.0	0.0
	1月～3月予想	4.9	0.0	△ 15.5	8.3	15.2	25.0	18.7
売 上	10月～12月実績	27.8	42.8	20.6	29.1	35.5	15.0	12.5
	1月～3月予想	5.9	3.5	△ 3.5	16.6	3.3	15.0	25.0
受注残	10月～12月実績	27.1	25.0	***	***	***	30.0	***
	1月～3月予想	12.5	△ 3.5	***	***	***	35.0	***
施工高	10月～12月実績	35.0	***	***	***	***	35.0	***
	1月～3月予想	15.0	***	***	***	***	15.0	***
収 益	10月～12月実績	15.6	28.5	5.1	12.5	27.1	10.0	0.0
	1月～3月予想	△ 2.5	0.0	△ 14.0	8.3	△ 5.0	5.0	18.7
販売価格	10月～12月実績	37.7	25.0	41.3	43.4	37.2	45.0	31.2
	1月～3月予想	25.5	14.2	21.0	33.3	25.5	35.0	37.5
仕入価格	10月～12月実績	53.2	35.7	60.3	45.8	54.2	70.0	43.7
	1月～3月予想	34.8	17.8	38.5	29.1	33.8	50.0	43.7
在庫	10月～12月実績	2.1	0.0	5.1	△ 4.1	***	5.0	0.0
	1月～3月予想	1.4	0.0	5.2	△ 8.3	***	5.0	0.0
資金繰り	10月～12月実績	△ 3.9	3.5	△ 24.1	12.5	5.0	15.0	△ 25.0
	1月～3月予想	1.5	7.1	△ 21.0	12.5	6.7	30.0	0.0
残業時間	10月～12月実績	4.9	7.1	△ 1.7	13.0	10.1	0.0	0.0
	1月～3月予想	△ 0.5	0.0	△ 5.2	4.3	3.3	△ 5.5	0.0
人手状況	10月～12月実績	△ 20.3	△ 25.0	△ 19.2	△ 17.3	△ 24.1	△ 15.0	△ 12.5
	1月～3月予想	△ 18.6	△ 25.0	△ 16.0	△ 13.0	△ 22.4	△ 16.6	△ 12.5

別府地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	10月～12月実績	22.7	30.7	△ 3.8	0.0	50.0	60.0	0.0
	1月～3月予想	5.7	7.6	△ 26.9	0.0	25.0	40.0	28.5
売 上	10月～12月実績	36.4	46.1	23.0	11.1	60.7	20.0	14.2
	1月～3月予想	13.8	7.6	4.0	22.2	17.8	40.0	14.2
受注残	10月～12月実績	38.9	38.4	***	***	***	40.0	***
	1月～3月予想	0.0	△ 15.3	***	***	***	40.0	***
施工高	10月～12月実績	60.0	***	***	***	***	60.0	***
	1月～3月予想	40.0	***	***	***	***	40.0	***
収 益	10月～12月実績	27.3	46.1	11.5	11.1	42.8	20.0	14.2
	1月～3月予想	5.7	0.0	△ 4.0	22.2	7.1	20.0	14.2
販売価格	10月～12月実績	40.9	23.0	46.1	33.3	46.4	40.0	42.8
	1月～3月予想	26.4	15.3	24.0	44.4	21.4	40.0	42.8
仕入価格	10月～12月実績	51.1	46.1	57.6	33.3	53.5	40.0	57.1
	1月～3月予想	40.2	30.7	48.0	44.4	35.7	20.0	57.1
在庫	10月～12月実績	0.0	0.0	3.8	0.0	***	0.0	△ 14.2
	1月～3月予想	△ 1.7	0.0	0.0	0.0	***	0.0	△ 14.2
資金繰り	10月～12月実績	△ 10.2	0.0	△ 30.7	11.1	0.0	20.0	△ 42.8
	1月～3月予想	△ 2.3	7.6	△ 28.0	11.1	3.5	60.0	△ 14.2
残業時間	10月～12月実績	3.4	0.0	0.0	11.1	10.7	△ 20.0	0.0
	1月～3月予想	△ 2.3	△ 7.6	△ 8.0	11.1	3.5	△ 20.0	0.0
人手状況	10月～12月実績	△ 28.7	△ 30.7	△ 30.7	0.0	△ 33.3	△ 40.0	△ 28.5
	1月～3月予想	△ 27.9	△ 30.7	△ 28.0	0.0	△ 33.3	△ 40.0	△ 28.5

大分地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業況	10月～12月実績	13.9	20.0	0.0	22.2	22.2	25.0	0.0
	1月～3月予想	5.1	0.0	△ 8.3	22.2	11.1	0.0	16.6
売上	10月～12月実績	17.7	40.0	12.5	44.4	11.1	12.5	16.6
	1月～3月予想	2.5	0.0	4.1	11.1	△ 3.7	△ 12.5	33.3
受注残	10月～12月実績	15.4	0.0	***	***	***	25.0	***
	1月～3月予想	15.4	0.0	***	***	***	25.0	***
施工高	10月～12月実績	37.5	***	***	***	***	37.5	***
	1月～3月予想	△ 12.5	***	***	***	***	△ 12.5	***
収益	10月～12月実績	3.8	20.0	△ 12.5	11.1	11.1	12.5	0.0
	1月～3月予想	△ 7.6	△ 20.0	△ 12.5	11.1	△ 11.1	△ 12.5	16.6
販売価格	10月～12月実績	38.0	40.0	41.6	44.4	29.6	50.0	33.3
	1月～3月予想	18.9	20.0	20.8	11.1	18.5	12.5	33.3
仕入価格	10月～12月実績	58.2	40.0	62.5	44.4	55.5	87.5	50.0
	1月～3月予想	34.2	20.0	33.3	11.1	37.0	50.0	50.0
在庫	10月～12月実績	1.9	20.0	4.1	△ 11.1	***	0.0	0.0
	1月～3月予想	0.0	0.0	8.3	△ 22.2	***	0.0	0.0
資金繰り	10月～12月実績	3.8	0.0	△ 16.6	22.2	11.1	25.0	0.0
	1月～3月予想	5.1	0.0	△ 12.5	22.2	11.1	25.0	0.0
残業時間	10月～12月実績	6.4	20.0	0.0	12.5	11.1	0.0	0.0
	1月～3月予想	1.4	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0
人手状況	10月～12月実績	△ 15.6	△ 20.0	△ 13.0	△ 50.0	△ 14.8	0.0	0.0
	1月～3月予想	△ 14.3	△ 20.0	△ 13.0	△ 37.5	△ 14.8	0.0	0.0

県北地区

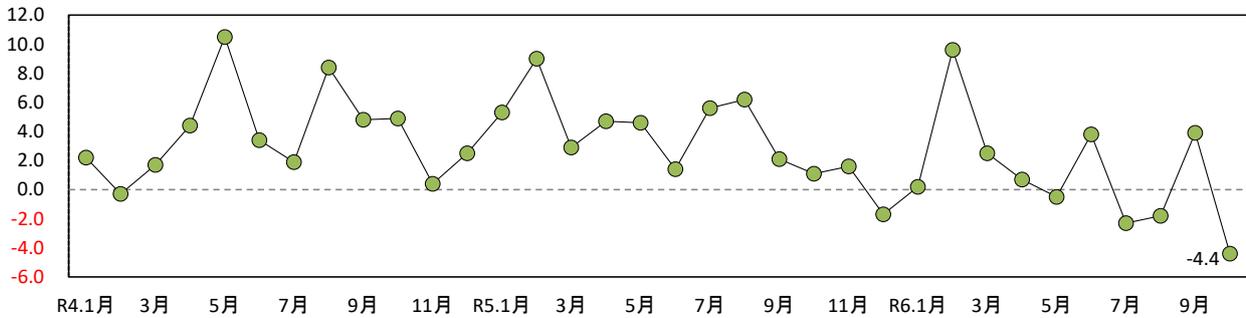
		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業況	10月～12月実績	10.5	△ 10.0	12.5	16.6	25.0	28.5	0.0
	1月～3月予想	2.6	△ 10.0	0.0	0.0	△ 25.0	42.8	0.0
売上	10月～12月実績	28.9	40.0	37.5	33.3	25.0	14.2	0.0
	1月～3月予想	△ 5.3	0.0	△ 50.0	16.6	△ 50.0	28.5	33.3
受注残	10月～12月実績	23.5	20.0	***	***	***	28.5	***
	1月～3月予想	23.5	10.0	***	***	***	42.8	***
施工高	10月～12月実績	14.3	***	***	***	***	14.2	***
	1月～3月予想	28.6	***	***	***	***	28.5	***
収益	10月～12月実績	13.2	10.0	37.5	16.6	25.0	0.0	△ 33.3
	1月～3月予想	△ 10.5	10.0	△ 50.0	△ 16.6	△ 50.0	14.2	33.3
販売価格	10月～12月実績	31.6	20.0	25.0	66.6	25.0	42.8	0.0
	1月～3月予想	23.7	10.0	12.5	50.0	△ 25.0	57.1	33.3
仕入価格	10月～12月実績	47.4	20.0	62.5	66.6	50.0	71.4	0.0
	1月～3月予想	23.7	0.0	25.0	33.3	0.0	71.4	0.0
在庫	10月～12月実績	5.9	△ 10.0	12.5	0.0	***	14.2	33.3
	1月～3月予想	8.8	0.0	12.5	0.0	***	14.2	33.3
資金繰り	10月～12月実績	△ 5.3	10.0	△ 25.0	0.0	0.0	0.0	△ 33.3
	1月～3月予想	2.6	10.0	△ 25.0	0.0	0.0	14.2	33.3
残業時間	10月～12月実績	5.3	10.0	△ 12.5	16.6	0.0	14.2	0.0
	1月～3月予想	0.0	10.0	△ 12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
人手状況	10月～12月実績	△ 10.5	△ 20.0	0.0	0.0	△ 25.0	△ 14.2	0.0
	1月～3月予想	△ 5.6	△ 20.0	12.5	0.0	0.0	△ 20.0	0.0

県内大型小売店販売額

令和6年10月の大型小売店販売額は前年同月比4.4%減少となっています。

(%) 大型小売店販売額(前年同月比)

(店舗調整前:経済産業省)

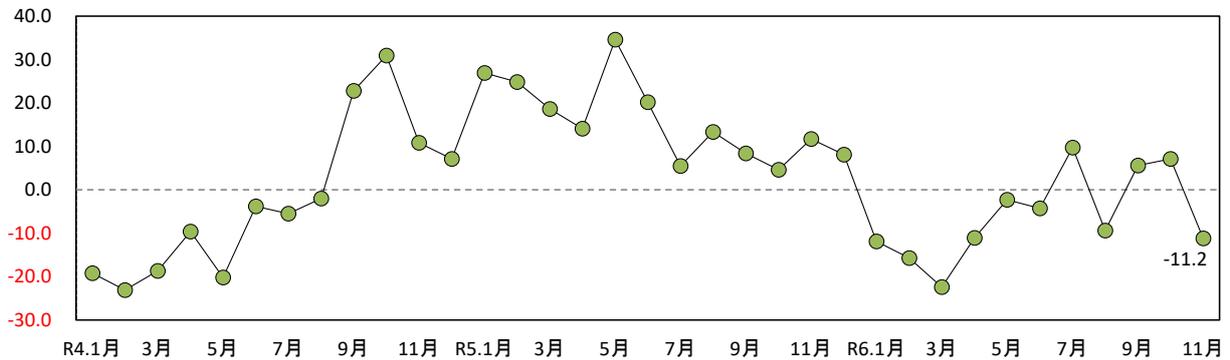


県内新車販売台数

令和6年11月の登録車と軽四輪車合計の新車販売台数(総合計)は3,984台で前年同月を11.2%下回りました。車種別では、普通乗用車が1,384台で前年同月比9.0%上昇、小型乗用車が561台で前年同月比22.3%減少となりました。また、軽四輪車の合計は1,804台で前年同月比19.4%減少となりました。

(%) 新車販売台数(前年同月比)

(日本自動車販売協会連合会大分県支部調)

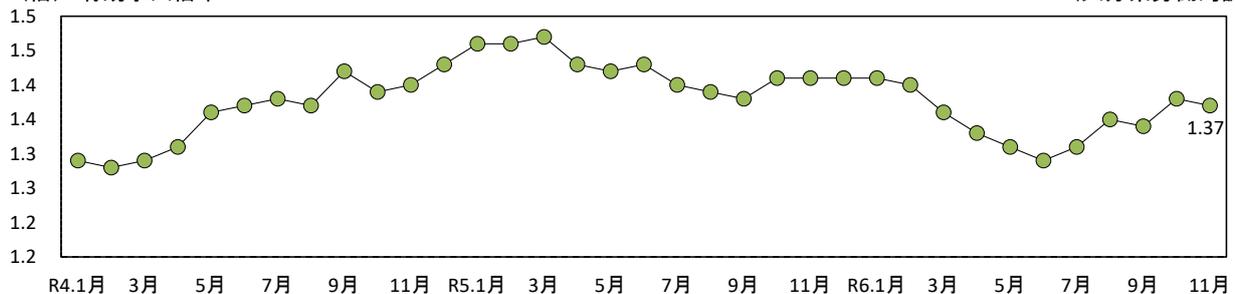


県内有効求人倍率

令和6年11月の有効求人倍率は、1.37倍(前月比0.01ポイント減少)となりました。地域別で見ると、大分管内1.76倍(前月比0.07ポイント上昇)、別府管内1.11倍(前月比0.05ポイント上昇)、中津管内1.17倍(前月比0.10ポイント上昇)となっています。

(倍) 有効求人倍率

(大分県労働局調)

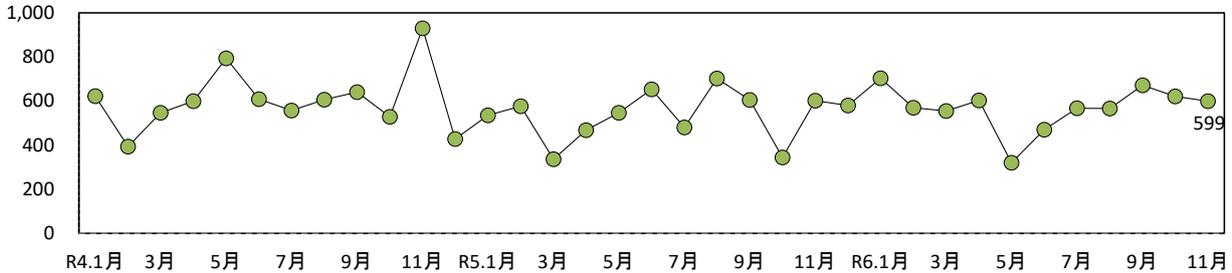


県内新設住宅着工戸数

令和6年11月の住宅着工戸数は599戸でした。そのうち、持家は196戸、貸家は178戸、分譲住宅は197戸となっています。

(戸) 大分県新設住宅着工戸数

(国土交通省調)



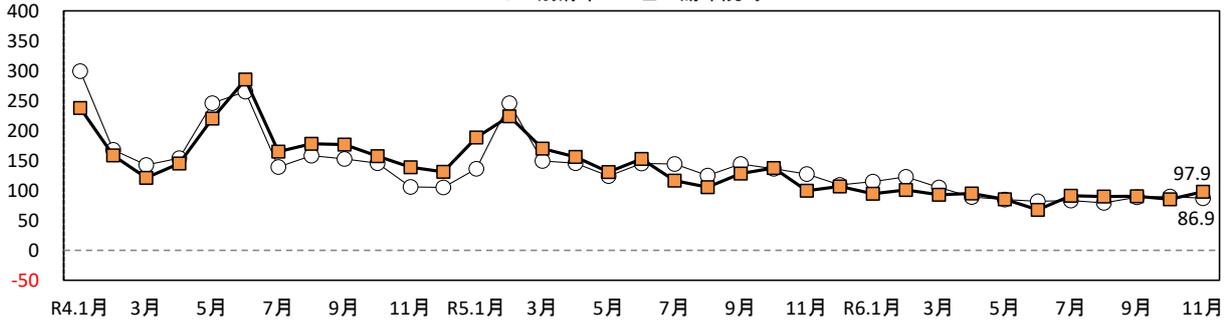
観光動向

令和6年11月の宿泊人員は、前年同月比で、別府地区86.9%、湯布院地区97.9%となっています。

(%) 宿泊人員(前年同月比)

○ 別府市 □ 湯布院町

(当金庫調)



企業倒産状況

帝国データバンクの調査によると、令和6年11月の県内の企業倒産件数は9件で428百万円でした。令和6年の累計は65件6,678百万円となっています。

